

けいはんな DX 推進セミナー

町工場がつくった 町工場のためのDX
「スマファク！」編

参加費
無料



株式会社サンコー技研
代表取締役
田中 敬 氏



野崎工業株式会社
工場長
井尻 哲也 氏

中小企業でDXに取り組んでいる企業は、2024年版中小企業白書によると、なんと6.9%です。今までのセミナーでは「DXに取り組みたいが、どう進めたら良いか判らない」、「設備投資予算がない」等のご意見が多くありました。そこで今回は、町工場自らが開発した超簡単・リーズナブルを徹底追求した日報 & 工数管理アプリ「スマファク！」を開発した株式会社サンコー技研様をご紹介します。

同社のツールを活用し「儲かるDX」を実現した野崎工業様にもDXの進め方をご紹介いただき、DX取組のご参考にして頂ければ幸いです。

2024年10月25日(金) 14:00 - 16:30

ハイブリッド形式 京都経済センター 6-C 会議室
Zoomミーティング

POST コロナリーディング人材創出支援事業 けいはんなDX推進セミナー

町工場がつくった町工場のためのDX「スマファク!」編

講演 町工場の日報電子化&アプリ事業化挑戦記



田中 敬氏
株式会社サンコー技研
代表取締役

自社製造現場で毎日記録されている手書きの日報記録、この貴重な情報を何とか簡単にデータ取得でき、リアルタイム共有ができ、可視化実績として分析できないか？この課題に 2018 年から挑戦し、日報アプリとして開発・事業化させた経緯をご紹介します。

基板や電子部品の精密プレスを得意とする東大阪のメーカー。代表的製品である交通系 IC カードは 1 億枚超の全数担当を続け、厳しい品質管理が要求される中、日報電子化を長年の課題として持ち続ける。業界を超えて IT ベンダーとの開発・協業を経験し、現在は AI ベンチャーとの協業サービスを展開中。

事例紹介 『野崎工業製造部見える化への挑戦』 ～スマファク!ってどうなの?～



井尻 哲也氏
野崎工業株式会社
工場長

～スマファク!ってどうなの?～から始まった野崎工業製造部見える化への挑戦。
スマファク! 導入の経緯と見える化3年間の歩みを振り返ります。
導入までの経緯 (背景と課題)
導入のポイント (コストと運用)
導入後の効果 (共有と活用)

1989 年、野崎工業入社、営業部からスタートし、その後生産管理部門での経験を経て工場長に就任現在に至る。

京都の未来をつくる「DX 人材育成 × 産業創発」プロジェクトとは、急激な社会変化やデジタル化に対応できるよう、産業政策と労働政策を一体的に推進し、府内企業における新たな価値や新ビジネスの創造、DX 化を促進することで、さらなる産業活性化、生産性向上につなげ、質の高い雇用を創出します。

お問い合わせ



公益財団法人
関西文化学術研究都市推進機構

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台 1 丁目7
けいはんなプラザ ラボ棟3階

TEL / 0774-98-2230
Mail / kj-pj@kri.or.jp
<https://www.kri.or.jp/>

開催日時 2024年10月25日(金)
14:00~16:30
受付開始 13:30

開催方法 ハイブリッド形式
会場 京都経済センター6階
6-C 会議室
オンライン
Zoom ミーティング

参加対象 中小企業経営者、製造責任者、
DX 推進担当者

参加人数 会場参加 40 名
オンライン参加 50 名

プログラム

- 14:00 開会・主催者挨拶
- 14:05 講演
- 15:05 休憩
- 15:15 事例紹介
- 15:45 質疑と対談
- 16:00 アンケート記入・名刺交換会
- 16:30 閉会

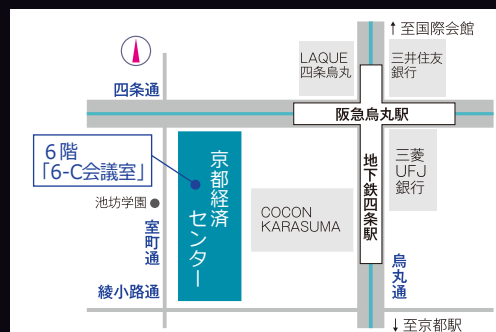
申し込み

QRコード、URLよりアクセスし、オンライン参加または会場参加をお申込みください。オンライン参加希望者には、後日Zoom招待URLを送信します。



<https://www.kri.or.jp/contact/dx241025.html>

会場



主催

(公財) 関西文化学術研究都市推進機構、京都府、
(公財) 京都産業 21、京都府雇用創造推進協議会

後援

京都商工会議所、(一社) 京都知恵産業創造の森
(特非) IT コーディネータ京都